

様式1-1 学位論文審査願の記入要領 (甲)

年 月 日

九州大学総長 殿

学位論文審査願

このたび博士の学位を受けたいので、九州大学学位規則第8条により、下記のとおり関係書類を添え、学位論文を提出いたしますから御審査ください。

記

1	主論文	1編	冊	2通	}
2	参考論文	編	冊	1通	
3	論文目録				
4	論文要旨				
5	履歴書				

注1: ○○学府○○学専攻
○○年入学
氏名

注2: 氏名

注3: 1-5

注1. 入学年及び区分について

(1) 同学府・同専攻に引き続き進学した場合

→ 「修士課程入学の年」を記入

(例1)

令和2年4月 九州大学 大学院 理学府 物理学専攻修士課程入学

令和4年3月 " 修了

引き続き、令和4年4月 九州大学 大学院 理学府 物理学専攻博士後期課程進学

→ 令和2年入学 (修士課程入学の年)

(2) 同学府で、専攻が異なる進学の場合

→ 「博士後期課程進学の年」を記入

(例2)

令和2年4月 九州大学 大学院 理学府 化学専攻修士課程入学

令和4年3月 " 修了

引き続き、令和4年4月 九州大学 大学院 理学府 物理学専攻博士後期課程進学

→ 令和4年進学 (博士後期課程進学の年)

- (7) 本学学部を卒業後、または本学大学院修士課程修了後、期間を置いて、博士後期課程へ編入学する場合

→「博士後期課程編入学の年」を記入

(例7)

平成11年3月 九州大学理学部卒業

令和3年4月 九州大学 大学院 理学府 物理学専攻博士後期課程編入学

→ 令和3年編入学 (博士後期課程編入学の年)

- (8) 転学府・転専攻する場合 (組織編成に伴う名称変更の場合を含む)

→「博士後期課程(一貫制博士課程、博士課程)転学府・転専攻の年」を記入

(例8-1)

九州大学 大学院 数理学府 数理学専攻博士後期課程

令和4年4月 九州大学 大学院 マス・フォア・イノベーション連係学府博士後期課程

→ 令和4年転学府 (転学府・転専攻の年)

(例8-2)

九州大学 大学院 理学府 物理学専攻博士後期課程

令和5年4月 九州大学 大学院 理学府 化学専攻博士後期課程

→ 令和5年転専攻 (転専攻の年)

- (9) 専門職学位課程を修了後、引き続き、博士後期課程へ編入学する場合

→「博士後期課程編入学の年」を記入

(例9)

令和3年3月 九州大学 大学院 人間環境学府 実践臨床心理学専攻専門職学位課程修了

令和3年4月 九州大学 大学院 人間環境学府 人間共生システム専攻博士後期課程編入学

→ 令和2年編入学 (博士後期課程編入学の年)

- (10) 専門職学位課程を修了後、引き続き、博士課程へ入学する場合

→「博士課程入学の年」を記入

(例10)

令和3年3月 九州大学 大学院 医学系学府 医療経営・管理学専攻専門職学位課程修了

令和3年4月 九州大学 大学院 医学系学府 医学専攻博士課程入学

→ 令和3年入学 (博士課程入学の年)

- (11) 他大学から転入学する場合

→「博士後期課程(一貫制博士課程、博士課程)転入学の年」を記入

(例11)

令和2年4月 ●●大学 大学院 工学系研究科 物理科学専攻博士後期課程入学

令和3年4月 九州大学 大学院 工学府 化学工学専攻博士後期課程転入学

→ 令和3年転学 (博士後期課程転入学の年) ※転入学としない。大学院通則で「転学」と規定。

注2. 氏名

→履歴書記載の氏名と照合する。

外国人の場合、カタカナ表記（漢字圏の学生は漢字）で記入する。

※ 氏名の順番等は、パスポートや在留カードと照合し、学籍氏名も含めてできるだけ統一させる。

注3. 主論文 1編 冊 2通 ←（2通は規則で確定された項目）

参考論文 編 冊 1通 ←（編数・冊数は提出に合わせて記入する）

*参考論文を添付しない場合は、消線を付すこと。（例）参考論文 ~~編~~ ~~冊~~ ~~1通~~

※ 本学学位規則第8条第2項による早期修了者については、様式中も「第8条第2項」とすること。

様式2「論文目録」及び 様式3「論文要旨」の作成にかかる留意事項（甲・乙共通）

1. 「論文目録」及び「論文要旨」は、本様式により、A4判用紙にワープロ浄書のこと。
2. 以下の①～④に記載する「論文名」はすべて一致させること。
 - ① 論文の「表紙」
 - ② 論文目録
 - ③ 論文の内容の要旨
 - ④ 論文審査結果の要旨
3. 論文名は、本文と同じ言語によるものとし、英語の場合は、和訳をカッコ書きで付記すること。
4. 英語の場合は、字体・文字の大小（大文字・小文字）についても統一させること。

(例)

 - (a) Molecular Analyses of Early Embryogenesis in ～
 - (b) Molecular analyses of early embryogenesis in ～
 - (c) MOLECULAR ANALYSES OF EARLY EMBRYOGENESIS IN ～例えば (a) にする場合は、①～④全て (a) に統一する。
5. 氏名も同様に統一すること。（①～④）

(例) ○高橋 ⇔ 高橋
○齋藤 ⇔ 斉藤
前者の場合は全て前者に統一する。（略さない）

【事務担当者へ】

- * 「論文目録」様式の欄外に、右の確認照合を付すこと。
- * 担当者は、本様式にて記載された論文目録等における各項目（氏名、題名等）の照合を行い、空欄に、チェックすること。

確 認 照 合	
主論文自著確認	
論文目録照合	

様式2 論文目録の記入要領 (甲・乙共通)

記載例

論 文 目 録		注1				
		<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <th style="width: 50%;">区 分</th> <th style="width: 50%;">甲 乙</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	区 分	甲 乙	○	○
区 分	甲 乙					
○	○					
氏 名	○○○○	注2				
主論文	1編 1冊					
題 名	○○○○・・・・	注3				
	大部は、○○雑誌 第○巻 第○号 (令和○○年○月○○日) に公表済 : : 残部は、○○雑誌 第○巻 第○号 (原稿枚数○○枚) (令和○○年○月○○日) 掲載サイト○○ <u>http://○○○</u> (原稿枚数○○枚) (令和○○年○月○○日) : に公表予定	注4				
参考論文	○編 ○冊					
題 名						
1.	○○○○・・・・ ○○雑誌 第○巻 第○号 (令和○○年○月○○日) 共著者○○○○	注5				
2.	○○○○・・・・ 掲載サイト○○ <u>http://○○○</u> (令和○○年○月○○日) 共著者○○○○					

注1 区分のいずれかに○印を付す。

注2 履歴書記載の氏名と照合する。外国人の場合、カタカナ表記(漢字圏の学生は漢字)で記入する。
※ 氏名の順番等は、パスポートや在留カードと照合、学籍氏名も含めてできるだけ統一させる。

注3 主論文等の題名と照合する。外国語の場合、字体・文字の大小について統一させ、和訳を()
カッコ書きで付記する。

注4 主論文

- ・ 公表年月順に列記する。
- ・ 未公表の論文の場合は、公表の「方法」「時期」「原稿枚数」を記入する。
- ・ 公表または公表予定がない場合、投稿予定を記載する。
- ・ 公表予定を記載する場合は、公表時期が決まり次第連絡すること。

注5 参考論文

- ・ 公表年月順に列記する。
- ・ 参考論文を添付しない場合は、「なし」と記入すること。
- ・ 参考論文がインターネット上のみで公表されるものを記載する場合は、「掲載されるサイトの名称」「URL」「公表の時期」「共著者名」を記載すること。

様式4 「履歴書」作成に係る留意事項（甲・乙共通）

氏名

- 1) 氏名に PC 等で出力されない異体字等が含まれる場合は、氏名を手書きで記載する。
- 2) 外国人氏名については、カタカナ・アルファベット・漢字（漢字圏の学生のみ）を記載する。
（氏名の順番等は、パスポートや在留カードと照合し、学籍氏名も含めてできるだけ統一させる。）

（例）

①中国・韓国等（漢字表記）の方	②欧米等（アルファベット表記）の方
ホァンツ ウエイ（カタカナ）	モハメッド アブドゥル マジード（カタカナ）
黄 志 偉（漢字）	Mohammed Abdul Mazeed（アルファベット）
Hyang Chih Wei（アルファベット）	

生年月日

- 「和暦」及び「西暦」を記載する。例：昭和51（1976）年1月1日
平成 2（1990）年1月1日

本籍（都道府県）

- 都道府県名（外国人は国籍（国名））のみを記載する。
国名は、在留カードにある国名を原則とする。
中華人民共和国→「中国」、大韓民国→「韓国」等

現住所

- 住民票に記載されている住所を（郵便番号）及び都道府県名から記載する。
郵便番号、団地名、宿舍名、番号等を正確に記載すること。また、提出後変更があった場合は、速やかに届け出ること。

学歴

- 1) 新制大学卒業以後または最終学歴から、年月日の順を追って正確に記載すること。
- 2) 入学・修了等の年月日に合わせて、大学・学部・学科名、大学院・専攻・修士課程・博士課程・博士後期課程の別を記載する。
- 3) 本学における大学院入学・進学の区分に注意する。（→様式1-1の説明を参照。）
在籍中の場合は、「現在に至る」とし、中途退学は「退学」、単位修得の上退学は「単位修得退学」と区別して記載する。
- 4) 本学大学院研究科の再編時期について、以下、注意すること。
昭和60年度入学者（～S61.3.31）まで「医学研究科」、それ以降は「医学系研究科」
平成11年度入学者（～H12.3.31）まで「研究科」、それ以降は「学府」
- 5) 研究生歴は学歴に含めない（研究歴に含める）。

職歴

- 1) 年月日の順を追って、採用・退職等を記載する。
在職中の場合は、最後に「現在に至る」を記載する。

- 2) 常勤の職について記入する。
但し、非常勤の職であっても、特に研究に関するものについては記載できる。
- 3) 職歴がない場合は、「なし」と記載する。
- 4) 日本学術振興会特別研究員の採用期間は、職歴に記載し、研究歴では大学院在籍の形で記載する。
- 5) 在職中の会社や組織の名称変更がある場合は、以下のように記載する。

(例)「△△会社(旧名××会社 平成●年●月●日社名変更)」
「××会社(平成●年●月●日△△会社に名称変更)」等

※「九州大学医学部・歯学部・生体防御医学研究所附属病院(呼称：九州大学病院)」の名称は、平成15年10月から使用。

研究歴

- 1) 研究した事項とその期間を明記すること。学歴又は職歴に記載した期間中に研究歴に当たるものがある場合は、それについても記入すること。
- 2) 修士課程の期間から研究歴に含めることができるが、学部は含めない。
但し、研究生の期間を含めることができる。その際、「研究生として」を必ず記載する。
 - 3) 同一研究歴が複数の組織にまたがる場合は、組織名を「及び」で結んでまとめて記載しても良い。
(例)九州大学大学院工学府及び日立製作所中央研究所において、△△△に関する研究
 - 4) 研究継続中の場合は、「現在まで」と記載する。
 - 5) RA(リサーチアシスタント)は研究歴に含めることもあるが、九州大学でのRAについては、研究歴に含めない。(TAは研究と関係ないので含めない。)
 - 6) 個人的に研究室にて指導を受けた場合については、研究歴に含むことができない。(研究生として在籍すべき)

様式4 履歴書の記入要領 (甲・乙 共通)

記載例

*区分及び性別は、いずれかに
○印を付してください。

履 歴 書	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">区 分</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 5px;">甲</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">乙</div>	
ふりがな 氏 名 生年月日	<p>*外国人氏名の場合、カタカナ・アルファベット・漢字で記載する。 (例) ホァンツ ウェイ モハメッド アブドゥル マジード 黄 志 偉 Mohammed Abdul Mazeed Hyang Chih Wei</p> <p>*生年月日 和暦及び西暦で記載する。 平成2 (1990) 年1月1日</p>
	男 <input checked="" type="radio"/> 女
本 籍 (都道府県名)	<p>*都道府県名のみを記載 *外国人の場合は、国名を記載する。(在留カードにある国名等)</p>
現 住 所	〒□□□-□□□□ *正確な住所を記載する。
学 歴	<p>平成24年3月25日 九州大学△学部卒業</p> <p>平成24年4月1日 九州大学大学院△学府△△専攻修士課程入学</p> <p>平成26年3月25日 同上 修了</p> <p>平成29年4月1日 九州大学大学院○学府○○専攻博士後期課程編入学</p> <p>現在に至る</p> <p>新制大学卒業または最終学歴から順に記載する。(前歴は不要)</p>
年 月 日 を 記 入 す る	<p>*九州大学における大学院入学・進学の区分に注意。 *平成11年度入学者まで「研究科」、平成12年度以降「学府」と記載する。 *中途退学=「退学」、単位修得の上退学=「単位修得退学」と記載する。 *<u>研究生歴は学歴に記入しない</u> (研究歴に含める)。</p>
職 歴	<p>平成26年4月1日 ××株式会社 採用</p> <p>平成27年4月1日 ◎◎株式会社(旧名××会社 平成26年10月1日社名変更) ○○研究所 配置換</p> <p>平成28年3月31日 同上 退職</p> <p>平成30年4月1日 日本学術振興会特別研究員採用</p> <p>現在に至る</p> <p>*日本学術振興会特別研究員の期間は、職歴に記載し、研究歴では大学院在籍の形で記載する。</p>
研 究 歴	<p>平成24年4月1日 } 九州大学大学院△学府において、○○について研究</p> <p>平成26年3月25日 }</p> <p>平成27年4月1日 } ◎◎株式会社○○研究所において、○○について研究</p> <p>平成28年3月31日 }</p> <p>平成28年4月1日 } 九州大学大学院○学府において、研究生として○○について研究</p> <p>平成29年3月31日 }</p> <p>平成29年4月1日 } 九州大学大学院○学府において、○○について研究</p> <p>現在まで }</p> <p>上記のとおり相違ありません。 令和2年2月15日</p> <p>*研究した事項とその期間を明記する。 *学歴及び職歴に記載した期間中に研究歴に該当する場合は記載する。</p>
	氏 名 ○ ○ ○ ○

別 紙

学位記表記文字等について

〈漢字氏名〉	(例：日本人) 高橋 太郎 (例：留学生) 华 雪峰
〈カナ氏名〉	(例：日本人) タカハシ タロウ (例：留学生) カ セツホウ
〈英字氏名〉	(例：日本人) TAKAHASHI Taro (例：留学生) HUA XUEFENG
授与決定通知 送付先住所	〒XXX-XXXX 福岡市西区元岡〇-〇-〇 【学内への発送希望の場合】 <学内便> 九州大学〇学部1号館〇階 〇〇〇〇学研究室

*各項目を正確に漏れなく記載のうえ、提出願います。

*学位記及び学位授与証明書の氏名

和文学位記及び和文証明書

日本人及び漢字圏の外国人の場合＝漢字氏名

漢字圏以外の外国人の場合＝カナ氏名

英文学位記及び英文証明書

日本人の場合＝ヘボン式ローマ字とすること。(パスポートを取得している人はパスポートどおり) また、表記順は姓→名とし、姓は全て大文字、名は頭文字のみ大文字とします。

例) 九大 太郎 → KYUDAI Taro

外国人の場合＝パスポートどおりとしてください。原則すべて大文字とします。また、表記順は希望(出身国の慣習のとおり)で構いません。

*氏名にPC・ワープロ等で出力されない異体字等が含まれる場合は、手書きで記載願います。

*旧姓使用又は通称名使用に伴い、上記氏名が学籍(戸籍)氏名と異なる場合は、「学位記記載の氏名表記届」を併せて提出願います。

*授与決定通知は、学位授与が決定次第、上記記載住所に送付します。

(海外の場合は、申請学府へ通知)

1. 旧姓・通称名の使用について

学位記は、旧姓（又は旧姓併記）・通称名（又は通称名併記）により発行することができます。

なお、学位記に記載する氏名が、学籍簿と異なる場合は、「学位記記載の氏名表記届」を提出させていただきます。

2. 単位修得後退学後の課程博士に係る取扱いについて

本学では、昭和37年5月8日開催の評議会決定により「（博士（後期）課程学生が）退学後3年以内に論文を提出して審査及び試験に合格した場合には、課程博士の学位記を授与する」ことを申し合わせ、現在まで運用しています。

この申し合わせの解釈は、**退学後3年以内に論文の審査及び試験に合格した場合に「課程博士」を授与すること**を意味しています。

つまり、退学後3年以内に提出された論文を、受理後1年以内で審査及び授与決定された場合（退学後3年以上4年以内授与）は課程博士に該当しないこととなります。

3. 博士論文のインターネット公表

平成25年4月1日以降に博士の学位を授与された方は、原則、学位取得後1年以内に学位論文の全文を本学学術情報リポジトリにより公表することとなっています。

公表にあたっての留意事項等については、九州大学附属図書館や国立国会図書館のWEBサイトも参考にしてください。

■ 九州大学附属図書館

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/services/open/qir/gakui-current>

■ 国立国会図書館

<https://www.ndl.go.jp/jp/collect/hakuron/index.html>